



タンセイファーム

たんせい ゆきひろ

丹生 幸宏さん（西原村）

社会人経験を経て就農してから5年目。
農薬や化学肥料を使用しないことにこだわり、
少量多品目で年間30～40種類ほどの野菜や果樹を露地栽培しています。
収穫量は減りますが、『少しでも安心・安全で身体にいいものを食べてほしい』という思いから、有機栽培を選択しました。



生産品目

かんしょ、さといも、かぼちゃ、トマト、なす、ピーマン、くり、ブルーベリー、ゆず、フェイジョアなど

生産するうえでのこだわり

枯葉やくりのイガ、剪定した枝などほ場で山積みにして、1年以上太陽光を浴びせ、発酵させることで、植物性由来の肥料が出来上がります。

また、ドラム缶の中でくりのイガや果樹の枝を燃やして、自家製の石灰を作るなど、SDGsを意識して、「環境に配慮した土づくり」を取り組んでいます。



苦労している点

有機栽培では、除草剤を全く使用しません。就農して1～2年目は、収穫作業で手いっぱいとなり、雑草で覆いつくされたほ場が多数発生しました。除草対策には苦労していますが、管理機やハンマーナイフモア、刈払機等を駆使して時間をかけて除草をしています。

また、害虫が多く発生するため、なるべく虫の発生が少ない生産品目や品種を選んで栽培していますが、近年の異常気象による水不足や高温障害対策にも苦労しています。



目印はこのマーク



販売先

畠まるごとマーケット有機生活（熊本市東区）、俵山交流館萌の里（西原村）、ノウカノセンス（阿蘇市）など

HP・SNS

[TANSEIFARM](#)

消費者の皆さんへ

“タンセイファーム”として屋号のごとく丹精込め、『安心・安全・旨味』を追求し栽培しています。お子さんをはじめ、多くの人に食べいただきたいです。